

「コロナと闘い続けつつ、新しい挑戦を！」(令和3年「学び舎」1月号)

校長 伊藤 眞文

短い冬休みでしたが、長い2学期の疲れを癒すことができたでしょうか？第3波ともいわれる新型コロナウイルスの影響で、ステイホームの中、不自由な面もあったとは思いますが、その充填したエネルギーで、学年をしっかり締めくくってほしいと思います。今年も感染防止への行動と意識を強く持ち、自分なりの目標をたて、厳しい状況の中でも挑戦する一年にしてください。

さて、締めくくりの3学期が始まります。「自ら挨拶をしよう」「掃除をしっかりしよう」という基本的な目標は変わりません。自分のためだけでなく、人のためにやることは、ずっと大切にしてください。

また、この3学期は、新しいことも始まります。GIGAスクール構想という事業があり、一人1台のタブレットが、本校にも導入される予定です。5G等、日進月歩の通信技術の進歩がある現代社会の中で、学校のICT環境を整備し、授業等でのタブレットの活用により、よりよい学習環境を目指すものです。詳細は、後日になりますが、十分活用し、学習に生かしてください。

先日、2学期の終業式で、人として「心はどこまでも強くなれる。そして、心はどこまでも優しくなれる。」と話しました。新型コロナウイルスとの戦いはまだまだ続きそうです。このがまんする時間をどう使うか、どう思うかが、これからの個人の成長につながると思います。このコロナ禍のピンチの中だからこそ、強く、優しい人になれるよう努力してみてほしいと思います。

ある哲学者は言っています。

「砂糖水を作ろうとする時、とにもかくにも砂糖が溶けるのを待たなければならない。この小さな事実の教えるところは大きい。どのくらいの時間で溶けるのかは、みんなわかっている。しかし、それは単なる計算結果で、待つ間のその人の気持ち次第で、短くも長くも感じるものだ・・・」

いろいろな待つ時間があります。「やっどこまで」か「まだまだこれから」か、みんなには待つことを各自の力に変えてくれることを望みます。

ただ、今は耐えることが多くて、一人ではしんどすぎる人が多いかもしれませんが、しんどい時も、必ず近くには相談できる仲間や信頼できる先生がいます。周りに相談することで、きっと乗り越えられるはずです。みなさんは、一人きりではないんです。

終わりに・・・3学期も、なかなか全校が集まれる機会はないですが、その分、学級・学年のメンバー、担任・学年・顧問の先生とともに充実した学校生活を送ってください。特に、3年生は、次のステージに向けて、いよいよ進路実現が現実化してきます。これからの、自分の人生のために、最後の最後まで努力を怠らず、後悔のない学期にしてください。

保護者の皆様、本校では、全国や京都府の感染状況を注視しながら、京田辺市、学校として、できる限りの感染防止対策に取り組んでおります。第一に、生徒の命と安全を守ることを考えて対策をとっております。そのため、苦渋の決断でしたが、昨年は様々な行事を中止・延期させていただきました。まだまだ新型コロナウイルスの感染に関しては予断を許さない状況ですが、ウィズコロナも視野に入れ、引き続き、対策は続ける中で、1月13日(水)～15日(金)の3日間、学年毎の分散の授業参観と学芸発表会「展示の部」を実施することといたしました。詳細は、別にお知らせいたしますが、ご来校の際は、感染防止へのご協力をお願いいたします。また、感染拡大状況により、急な措置をとらせていただくこともあるかもしれません。引き続き、ご協力、ご支援を賜りますよう、本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。